

製品名: PBK マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81097**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	PBK
別名	SPK; CT84; TOPK; Nori-3
遺伝子 ID	55872.0
SwissProt ID	Q96KB5
免疫原	大腸菌で発現したヒト PBK の精製された組み換え断片。

背景

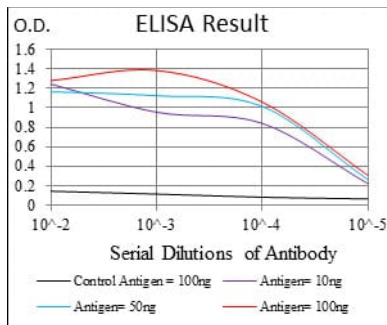
この遺伝子は、二重特異性マイトジェン活性化プロテインキナーゼキナーゼ（MAPKK）ファミリーに関連するセリン/スレオニンキナーゼをコードしています。このキナーゼの触媒活性には、有糸分裂期のリン酸化が必要であることが示唆されています。この有糸

分裂期キナーゼは、リンパ球細胞の活性化に関与し、精巣機能をサポートする可能性があり、精子形成過程における役割も示唆されています。

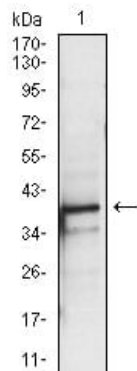
研究分野

-

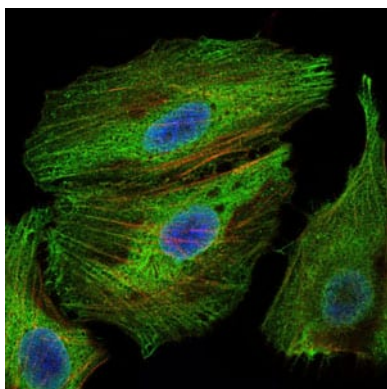
画像データ



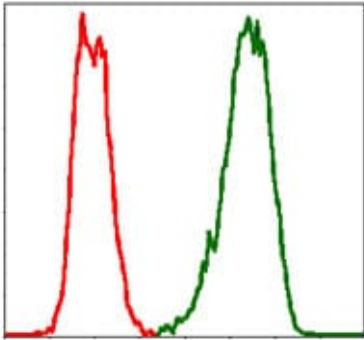
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



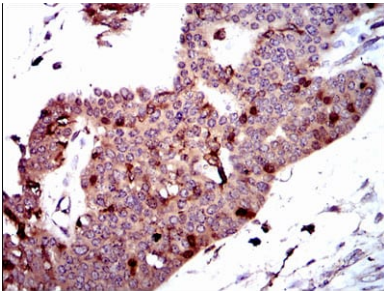
A431 (1) 細胞溶解物に対する PBK マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



PBK マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PBK マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による PBK マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。

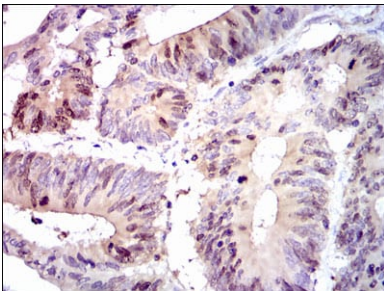


図 5: PBK マウス mAb と DAB 染色を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。